



食品ロス削減マッチングサービス「かめやまたバスケ」の導入について

亀山市は、三重県のフードシェアリングサービスモデル事業に参加し、10月から食品ロス削減マッチングサービス「かめやまたバスケ」を導入します。

この事業は、三重県が県内市町に参加を呼び掛けているもので、食品ロス削減マッチングサービス「タバスケ」(株式会社G-Place)によるフードシェアリングサービスモデル事業です。消費期限や賞味期限が迫るなどにより廃棄になる可能性のある食品を店舗がWEB上に安価で出品し、消費者がそれらをお得に購入でき、食品ロスを削減できるサービスで、本市では「かめやまたバスケ」の名称で試行的に開始します。

食品ロスについては、これまで広報紙や行政情報番組を通じて家庭における食品ロスの削減を呼び掛けてまいりましたが、事業系の食品ロスについては、家庭系食品ロスより多く発生しているにもかかわらず、対策を講じることができていない状況にありました。

このことから、第2次亀山市総合計画後期基本計画にごみの減量化とリサイクルの推進を図るための施策として、また、第2次亀山市環境基本計画には重点プロジェクトとしてICTを活用した食品ロス削減の仕組みづくりを位置付けました。

このサービスの導入により、ごみの減量化やごみ処理時に発生する温室効果ガス排出量の削減を図り、店舗の収益の確保やPRなどにつながることを期待するとともに、事業者と消費者がともに食品ロス削減に取り組むことで、食品を無駄なく消費する意識を高め、市全体でSDGsを推進してまいります。